

## あなたも認知症サポーターになりませんか！

現在、65歳以上の18%以上（約6人に1人相当）の方が認知症と推定されており、「認知症」になっても本人の意思が尊重され、地域で暮らし続けることができるよう、「認知症の方の理解者を増やす」取組を行うことが必要です。

### 認知症サポーターとは

認知症について正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の方やその家族をあたたく見守る「応援者」です。磯子区の認知症サポーターは、令和4年3月末時点で19,000人を越えました。今後も更にサポーターを増やしていきたいと考えています。

### 認知症サポーターになるにはどうしたらいいの？

お近くの地域ケアプラザなどで認知症サポーター養成講座を開催しています。

認知症についての正しい知識や認知症の方にどのように接したら良いかなどを学びます（1時間半程度・無料）。受講された方には、認知症サポーターの証として認知症サポーターカードをお渡ししています。

### 認知症サポーター養成講座で学んだことを活かすには？

認知症サポーター養成講座で学んだ知識を高年齢者支援に生かす、磯子区独自の「いそごオレンジボランティア」の取組を進めています。認知症サポーターの方は磯子区社会福祉協議会またはお近くの地域ケアプラザでボランティア登録ができ、認知症カフェ等で認知症の知識を活かすことができます。



「認知症みんなで支えるまち」



認知症サポーターカード

【お問合せ】 磯子区高齢・障害支援課  
電話 750-2417 FAX 750-2540